

3. 中期計画

3.1 第2期中期計画（2017年度～2022年度）における2021年度計画と実績

3.1.1 2021年度計画の概略（石川県公立大学法人 2021年度計画 概要版より）

計画策定の基本的考え方

■第2期中期計画（6年間）の5年目にあたる令和3年度は、中期計画の3つの柱「大学教育機能の強化」「地域連携・地域貢献機能の強化」「ガバナンス機能の強化」に基づき、教育研究機能の改善を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の継続的な影響への対策やグローバル化の推進に関する事業を強化する。

中期計画の3つの柱に関する取組み

項目	看護大学	
	内容	
I 大学教育機能の強化 - 社会ニーズに応じた教育の提供 - 学生の学びの質向上	①教育の充実、質の確保	○教育内容とディプロマポリシーの整合性に関する検証 →内部質保証を推進するため、データの利用・分析 ○看護基礎教育のカリキュラム改訂作業を完了 ○遠隔・対面授業を運用する際の課題について検証、改善
	②学修相談体制、学生同士のサポート支援	○学生支援体制の強化 →相談体制の充実、学生同士の学修相談等の支援
	③キャリア教育の充実	○キャリアプランの実現を支援 →全学年を対象とした学生セミナーの開催、卒業生等との交流会の実施
II 地域連携・地域貢献機能の強化	④産学官連携の推進 社会人教育の充実	○感染管理認定看護師教育課程の継続、定員増 →コロナ禍を背景とした看護協会の要請に対応 ○感染看護における新規研修を実施（県から受託） ○認定看護管理者教育課程（サードレベル）を開講
III ガバナンス機能の強化	⑤両大学間の連携強化、 コロナ対策方針の決定	○両大学間において、教育・研究・事務の交流を図る →両大学の共同研究の推進、合同で研究発表会及びFD・SDセミナーの実施 ○新型コロナウイルス感染症の状況に応じた機動的な対応 →新型コロナウイルス感染症対策会議にて対応、学内調整等を実施

その他の主要な取組み

項目	看護大学	
	内容	
IV. 志願者確保対策	①広報活動の充実	○隣県への募集活動の拡大 →近年減少が顕著な富山県をターゲットに高校訪問等実施 ○オープンキャンパスの内容検討、改善 →対面やWEB開催の併用等を状況に応じて検討、実施
V. グローバル化の推進	②海外研修の充実 情報発信力の強化 等	○アメリカ、タイへの海外看護研修の実施 ○留学生等との交流（インターナショナルカフェ）実施 ○ネイティブ講師を活用し研修前後における支援充実 ○JICA研修、草の根技術協力事業等の実施
VI. 情報化の推進	③ICTの活用	○大学メールシステムについて運用のあり方を検討 →メールの学外利用による利便性向上、ランニングコスト削減 ○両大学のネットワーク環境改善 →学内のWi-Fi利用可能エリアの拡大

3.1.2 2021年度実績の概略

(石川県公立大学法人 2021年度業務実績報告書の概要より抜粋)

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育課程の充実

(1) 看護基礎教育におけるカリキュラムの改定

- ・国の指定規則の改訂に伴い学部及び大学院のカリキュラムを改正

(2) 教育内容の検証

- ・外部委員を交えた質検証委員会を設置し、教育成果について意見交換

(3) 教育内容の質向上

- ・助産学及びCNS（専門看護師）実習において、教員が研修先の全学生に対してオンラインでの個別指導等を実施

(4) グローバル化の推進

- ・オンラインによるアメリカ国際看護演習の開講
- ・タイ人留学生、大韓民国団石川地方本部青壮年会会長を招いてのインターナショナル・カフェ(国際交流の集い)を開催
- ・ネイティブ講師による英語・韓国語講座の開講

2 教育実施体制の充実

遠隔・対面授業を運用する際の課題について検証、改善

3 学生への支援

(1) 学生支援体制の強化

- ・学生からの相談を専門家によるカウンセリングへ早期につなげるための連携強化
- ・学生ピアサポーター制度（仲間同士の支え合い）を新たに構築し、学生同士が悩みや不安等を語り合う会を開催

(2) キャリアプランの実現を支援

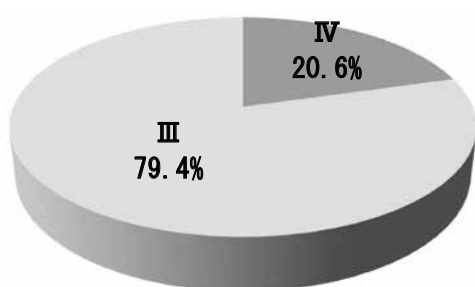
- ・開学記念シンポジウムで卒業生によるキャリア講義を実施
- ・就職活動の早期化に対応するため、3年生への進路支援を前倒しで開始

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

4 地域貢献及び国際貢献の推進

- (1) 感染管理認定看護師及び認定看護管理者の教育課程を開講 (No. 31-1)
- ・感染管理認定看護師教育課程に44名(前年比14名増)が履修し、全員修了
 - ・認定看護管理者教育課程(サードレベル)を開講し、履修者全員が修了
- (2) 感染看護における新規研修を実施 (No. 31-1)
- ・新たに「感染管理看護実践力向上研修」をオンライン開催する他、「看護教員現任研修」「看護管理者経営研修」「皮膚・排泄ケア研修」の計4事業を実施
- (3) JICA研修、草の根技術協力事業等の実施 (No. 34-1)
- ・JICA日系研修(パラグアイ)「高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成」をオンラインにて開催
 - ・JICA草の根技術協力事業についてオンラインで意見交換、次年度の開催準備

項目別評価の状況



項目	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
教育	3	21	0	0	24
研究	0	3	0	0	3
地域貢献	0	4	0	0	4
グローバル化	0	3	0	0	3
計	3	31	0	0	34

※ Ⅳ…年度計画を上回って実施している。 Ⅲ…年度計画を順調に実施している。
Ⅱ…年度計画を十分には実施していない。 Ⅰ…年度計画を実施していない。

業務運営の改善・効率化に関する目標

- 1 **ガバナンス機能の強化**
 - ・学長主導のもと設置した第3期中期計画に関するワーキンググループを開催
- 2 **両大学間連携の推進**
 - ・合同FDセミナー及び合同研究発表会をオンラインで開催
 - ・障害者によるヒツジ生産の支援に関する研究等、両大学で共同研究を実施
- 3 **事務組織等の整備と効率化**
 - ・音声ファイル文字起こしサービスの導入
- 4 **教員へのインセンティブを与える仕組みの導入**
 - ・複数年評価制度における研究費の配分増の検討

財務内容の改善に関する目標

- 1 **外部資金の獲得**

受託研究費及び共同研究費の獲得状況
前年度比 1,930千円/+2件 (R3 : 2,190千円/3件、R2 : 260千円/1件)
- 2 **志願者の増加に向けた取り組み**
 - ・受験生ニーズを踏まえたWEBオープンキャンパスの開催
 - ・大学ホームページに「大学の強み・特色」に関する特設ページの開設
 - ・ナーシングカフェをWEB開催し、能登地区出身の卒業生・在校生のインタビュー動画をホームページ上に掲載
 - ・入試制度に関して高校と意見交換会を開催

自己点検評価及び情報提供に関する目標

- 1 大学への評価を活用した取組み
 - ・外部委員を交えた「教育の質検証委員会」を開催し、意見交換
- 2 大学活動に関する情報発信を推進
 - ・SDGsの取り組みをホームページの特設ページや大学新聞で発信

その他業務運営に関する目標

- 1 施設設備の計画的な更新
 - ・学内Wi-Fi環境の整備
 - ・修繕計画に基づく照明制御装置の更新
- 2 全学的な安全衛生管理体制の整備
 - ・学生や教職員の安全・健康保全のため、衛生委員会が年3回学内の巡視を実施